



# ふれあい119



全国版「防火ポスター」

凶案応募作品 優秀賞

西和賀町立沢内中学校二年生

広田 顕さんの作品

(北上地区幼年婦人防火委員会推薦作品)

安全・安心なまちづくりのために



北上地区消防組合  
北上消防署長 及川 諭

今年3月7日自治体消防が発足してから60周年を迎えます。消防職員は住民の生命・身体・財産をあらゆる災害から守るため日夜活動をしておりますが、地震を始めとする自然災害が全国各地で発生しています。昨年も新潟県中越沖地震が発生し多くの被害が出たことは記憶に新しいところです。当地域においても9月に大雨による水害で多くの被害が発生しました。近い将来高い確率で発生すると言われております宮城県沖地震を始めとする災害による被害を少しでも少なくするために「自分たちの町は自分たちが守る」として自主防災組織の結成を推進しております。それぞれの自主防災組織が地域の現状を検証し、住民一人ひとりが自分の身の回りにある危険を考えるとともに「結いの精神」のもと、お互いに助け合い「安全・安心なまちづくり」のためにご尽力をいただきますようお願いいたします。

# 【春季全国火災予防運動】

3月1日(土)～3月7日(金)

平成19年度全国統一防火標語

## 『火はみてる あなたが離れる その時を』

春の火災防ぎよ訓練は3月2日(日)午前7時から 大堤地区で行います。地域の皆様のご協力をお願いします。



春は、空気が乾燥して火災の発生しやすい季節です。  
恐ろしい火災から家族の尊い生命や大切な財産を失わないために、次の事に注意しましょう。

**早く気づいで、早く消す！  
そして、早く逃げる！**

焼死者を出した火災のニュース。火災で亡くなる不幸を思うと胸が痛みます。  
住宅用火災警報器があれば、逃げ遅れず助かったのではないかと。  
消火器があれば小さな火のうちに消せたのではなかったのか。  
みなさんのお宅では、住宅用火災警報器の取り付け、進んでいますか。寝室や階段に煙感知器が必要です。  
消火器が古くなっていますか。古いものは販売店に引き取ってもらい、買い換えましょう。  
いざという時の逃げ道、考えていますか。玄関や階段、普段どおりに使えるとはかぎりません。この機会に確かめておきましょう。



〈家庭の防火〉

## ◆平成19年の火災件数は37件

平成19年1月から12月までに北上地区消防組合管内（北上市、西和賀町）で発生した火災は37件で、前年に比べ9件減少しました。

出火原因の主なものは、こんろが7件、たばこ・たき火・火入れ・ストーブ・放火がそれぞれ2件、その他（ボイラー・電気配線等）が10件、不明が10件となっています。

死者は、2人で前年に比べ1人減少しました。負傷者は10人で前年に比べ4人減少しました。

### 出火原因のワースト1はコンロからです。

#### ■対策として

- 調理中にキッチンを離れるときは、必ず火を消す。
- こんろは壁から離して置く。
- こんろの周りはいつも整理整頓しておく。
- 化繊（かせん）が混じった衣類は火がつきやすいので気をつける。

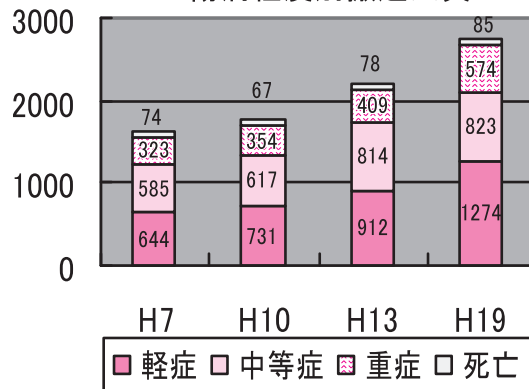


▲煮物を長時間加熱中、放置し、中身が燃え出して火災に。

## ◆平成19年中の救急出動件数 タクシーとしての利用が増!!

平成19年中に救急車が出動した件数は、2,902件で1日平均約8件出動しています。**軽症患者の出動が1,274件**です。

傷病程度別搬送人員



#### ■適正な救急車の利用を

救急車で病院に行くとき早く診てもらえる。どこの病院にいけばいいのかわからない？交通手段がない。

このような場合は、一度最寄りの病院へ電話で相談し、受診可能かを確認後、自家用車またはタクシーなどで病院に行かれるようお願いいたします。

タクシーの中には車いすや、ベッド付の介護タクシーもあります。

安易な救急車の利用は重症患者さんが救急車を利用できなくなります。

## ◆救急車の平均到着時間は7分。 その間、そばにいるのは、あなたです。

#### ■応急手当を身に付けましょう

自分の家族、またはあなた自身が命の危険にさらされた時、真っ先に救ってくれるのは、駆け付けた救急隊員や搬送先の医師ではなく、そばにいて応急手当をしてくれる方々といっても過言ではありません。

#### ■救命講習を受けましょう

北上地区消防組合では、心肺蘇生法をメインに応急手当講習会を開催しております。1人からでも受講可能です。10人以上集まればこちらから伺います。

詳しいお問い合わせは消防本部警防課（65-5175）まで。

## ◆通信指令室からのおねがい!

#### ■携帯電話による119番通報

携帯電話による119番通報が増えています。現場が特定できないことがあります。自分の所在や目標物を明確にお願いします。



119番は緊急回線ですので、病院等の問い合わせは一般電話（64-1122）でお願いします。

## 西和賀消防署員 年末チャリティショーに参加!

第2回西和賀町チャリティショーが12月2日銀河ホールで開催され、多くの歌や踊り、寸劇が披露されました。西和賀消防署も職員手作りによる寸劇をとおして、消火器や住宅用火災警報器の設置促進及び救命講習の普及啓発を目的として参加させていただきました。

悪徳訪問販売員から消火器と住宅用火災警報器を購入した老女が、法外な代金請求にショックを受け心臓マヒを起こすが、AEDにより救命されるという内容で、職員のコミカルな演技に、満員の会場には笑い声があふれていました。



## 専修大学北上高校美術部の皆さんが 応急手当普及看板を作成!



専修大学北上高校美術部の高橋南さん、多田朝日さん、佐々木文美子さん、佐々木由美子さん、高橋美和子さん、都鳥由香さんの6人に素晴らしい看板を作成して頂きました。北上消防署の玄関前に掲示しており、応急手当の普及に貢献しています。

## 表紙によせて



このコンクールは、日本消防協会が、昭和60年度から全国の小中学校を対象に毎年実施しているものです。

当組合では、今年も管内の小中学校に凶案募集し、応募数22点の作品の中から、作品2点を、岩手県消防協会に推薦しました。

岩手県消防協会では、県内各消防本部等からの推薦作品の中から、当組合推薦の広田顕さんの作品を第一推薦として日本消防協会に作品2点を推薦した。

日本消防協会では、各都道府県から寄せられた推薦作品の中から、最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作7名が選ばれ、その中で、西和賀町立沢内中学校2年生広田顕さんの作品が優秀賞に選ばれました。

広田顕さんの作品は、岩手県消防協会作成の「防火の知識」の表紙を飾ることとなります。